

みんなのアイデアで、多摩市民の幸福感アップを

市民参加型予算で、わくわくしよう！

杉並区の取り組みを多摩市でも

市民参加型予算事業とは、市が募集するテーマについて市民から提案された予算の使い道の中から、市民投票の結果を踏まえて次年度の事業案を選定する取り組みです。

令和7年度のテーマは「健康・ウェルネス」で、アンケート結果で1位だったのは「公園にミストシャワーを設置」でした。他にも「アートを楽しみながら杉並を歩こう」、「高齢者見守りキーホルダー」など、テーマの「健康」を文化・芸術や福祉の分野と絡めた個性的な案が目立ちました。



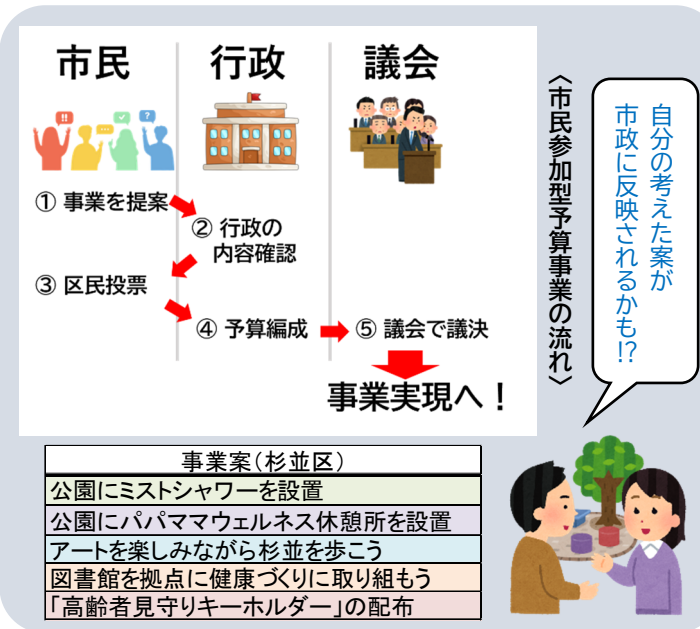
杉並区長 岸本聡子さんと

ボトムアップの
区政をめざす

「いつの間にか議会で決定していた」よりも、「自分たちで決められる！」方がわくわくしませんか？

本当の意味で民意に近い結果が得られますし、参画している実感を得ることで、市政における他の議題や課題に興味を持つきっかけにもなります。市民参加型予算事業が実現したら、私は「車椅子とベビーカーのバリアフリーについて」の事業案の募集を提案したいと考えています。当事者でない人も、バリアフリーについて考えるチャンスになり、意外なところから画期的なアイデアが生まれるかもしれません。

多摩市でも、新しい取り組みを、ぜひ！！



阿部市政の成果を、もっと前へ！

小泉 しんぺい

34歳
無所属

